

プロ野球

加藤 誓 (ちかい)

バンテリンドームで「中日対広島」を息子と一緒に観戦をした。私は、中部日本新聞の影響か、杉下、空谷、西沢などが活躍した小さい頃からのドラゴンズファンである。

そして、カープがセリーグ初優勝し、広島の繁華街、薬研堀のあちこちで樽酒を振る舞い大騒ぎしたその頃の10年間、広島に住んでいたこともありカープも好きである。



息子は、根っからのカープファンである。名古屋にも気を使ってか、カープ堂林（中京大中京出身）のユニホームを着用している。観戦の席は息子の希望で、ビジター外野応援席であった。

周りは赤帽子に赤のユニホーム、赤のカンフーバット、赤一色である。

そして応援団のリーダーが前に立ち、手で合図する。一斉に「おーおっ、それ、き・く・ち」続いて太鼓、トランペットが鳴り響く。カンフーバットを振り叩き、「かつ飛ばせ菊池！」と叫びながら立ったり座ったりを何度も繰り返す。私の頭の上には、大きな赤い応援旗がぐるぐる振られている。隣の席の息子も大声で立ったり座ったり、応援団にすっかり溶け込んでいる。

そこに場違いのジャケット姿の私が座って居る。やかましく、野球観戦どころでない。

腕を組んで、周りを観察する。若者が多い。カープ女子も多くいる。食事をしているような人は見かけない。年齢的にも私のような高齢者はいない。

なるほど、これが応援席か、と感心していたら、点が入った。

「わぁー！」と歓声。花咲か爺さんの替え歌「宮島さんの神主が・・・！」トランペットと太鼓に合わせ大合唱！そしてハイタッチ。

じっと座っているのは私だけで、何となくおかしいので取り敢えず立ち上がり息子とハイタッチ。

ラッキーセブンには、「それ行けカープ」がドームに響き渡る。

やっと、中日のラッキーセブンとなり、周りが静かになる。

マスコットキャラクターの「ドアラとシャオロン」がチアドラ17名と登場。

「燃えよドラゴンズ！」。「ドアラのバック転タイム」は無くなり、ドアラは持参したドラムの周りをリズムをとる様に廻っていた。

Fガールの「きつねダンス」がブームであるが、チアドラも歴史もあり、人気のチアチームである。チアドラは、ビジター外野応援席前には来ないので、双眼鏡でチアドラダンスを楽しんだ。

「コロナ禍の制限」のない応援が出来るようになったのは素晴らしいことである。

今までのうっぷんを晴らすかの様な観客の興奮状態を今日は楽しく見せてもらうことが出来た。

21時過ぎに女房が待つ家に帰った。

女房は、高校野球ファンで「ここでバンド！」とか良く知っている。

WBCの試合も、にわか大谷ファンとなり、必死にテレビの前で応援をしていた。

ところが、プロ野球は全く分からないと言う。応援する球団がなく興味がないのは理解出来るが、「プロ野球と高校野球」はルールも違うからと言う。「じゃ、WBCは？」「あれはプロ野球とも違おうし高校野球とも違う。」益々、私には理解できない。ただ、「息子のカープ」は気になるようだ。「今日は、カープ勝った？」と息子に聞く。そして「良かったね！」と。

私には、どうだったかも聞かなかった。